

【ねがいましては】

第2号

昭和63年2月25日

発行 共和珠算塾 新浜教室

春には、まだ主役の座を渡さんぞとばかりに、寒さがラストスパートをかけているこのごろです。子供達の手や耳がしもやけで、とてもかゆそうです。

「他人をおもいやり」、やさしさのある子供になってくれたら」そう願うご父母の方が多いことと思います。教室でも時々それを感じることがあります。

待合室には、マンガの本等がおいてあり、子供達は自由に読め、また持ち帰ることもできます。実は私あまり本の整理をしたことがありません。なぜか、誰かが整理してくるんです。くつなどもぬぎっぱなしだと、げた箱へ入れてくれる子もいます。教師用の筆入れの中のえんぴつが、いつのまにかとがっていたり、誰なんでしょう。ありがとう、だれかさん、これからもよろしくお願ひします。

なんと子供達から教えられることの多いこと、これこそ思いやり・・・・

先日、ある教育雑誌に主婦からのお便りがありました。

庭先や家の中にも、いろんな虫が出てくる。ゴキブリもそうだ。我が家四歳になる娘は「おかあさん、ゴキブリはいけない虫?」と聞く。私がゴキブリとか、ネズミ、ハエはバキンをもってくるから悪い生き物よ、といつもいっているからだろう。「じゃ、バッタは? チョウチョは?」「バッタやチョウチョは、なにもしないからいいのよ」「・・・・?」

わかっただろうか。幼い娘には、バッタもゴキブリも同じ虫に見えているだろうに。その証拠に、あれはゴキブリの子どもなのか、よくはしらないが小さいゴキブリを、私は見つけるとティッシュで取ってしまう。それを見て娘がいった。「ゴキブリの赤ちゃん。おかあさんの所に行こうとしていたのに・・・・」といつて、涙を一杯ためて泣きだすのです。

私は切なくなってしまう。私だってゴキブリを殺さないでませられるのなら、すませたいけど・・・・。今の世の中、娘の優しさは弱さにさえ感じられるけど、でも私は虫の死にも涙を流せる娘の方が好きだ。

それから何日かして、今度は片足のないバッタが、洗濯機の排水に流れてしまい、気がついた時は遅くて、もう下水の方にいってしまった。それを見ていて、またも娘は、辛くなつて一人クッションの上で涙をふいている。娘が保育所にいった後、私は洗濯を続けるため洗濯機のところにいた。すると、下水の縁にしがみついて、はいあがってきたのか片足のバッタがそこにいたのです。

私はそっと、菊の苗にバッタを休ませました。娘が見たら、どんなに喜ぶだろうと思いました。バッタさん、娘が保育所から帰ってくるまで、どこにもいかないで、そこにいてと、私は祈ったのです。

☆203回検定で一級合格者がいました。・・・米田 美由紀さん(高一)おめでとう!

☆2月7日(日)東京湯島天神にて全珠連主催の「ちびっこそろばんまつり」がおこなわれ

当教室から、真田 梨衣ちゃん(小2)・鈴木 綾ちゃん(小2)が参加しました。

各テレビ局も取材に訪れ、楽しい一時をすごしました。

3月の主な予定

3月 5日(土) 204回検定受付締切(珠算・暗算)

17日(木) 暗算検定1~6級(塾で行います)

19日(土) 珠算検定4~10級(塾で行います)

20日(日) 珠算3級以上段位・暗算段位(中央商業高校)

22日(火) ゲーム及びスピードプリントの練習

24日(木) スピードプリント記録会

26日(土) スピード競技ダブルスハンデ戦

29日(火) 春休みに入ります